

2026年12月期 第1四半期 決算説明資料

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード：3788（東証プライム）

目次

- 01 | エグゼクティブサマリー
- 02 | GMO AIコネクト株式会社グループジョインのご報告
- 03 | 2026年12月期 第1四半期決算実績
- 04 | 注力商材の状況
 - 電子認証事業・SSL・クライアント認証 (GlobalSign)
 - ログイン認証強化サービス (GMOトラスト・ログイン)
 - 電子契約サービス (電子印鑑GMOサイン)
 - マネージドクラウドサービス (CloudCREW byGMO)

エグゼクティブサマリー

業績

前年同期比 売上13.4%増・営業利益50.8%増、好調に推移。
重点商材は前期に引き続き高成長を維持

事業

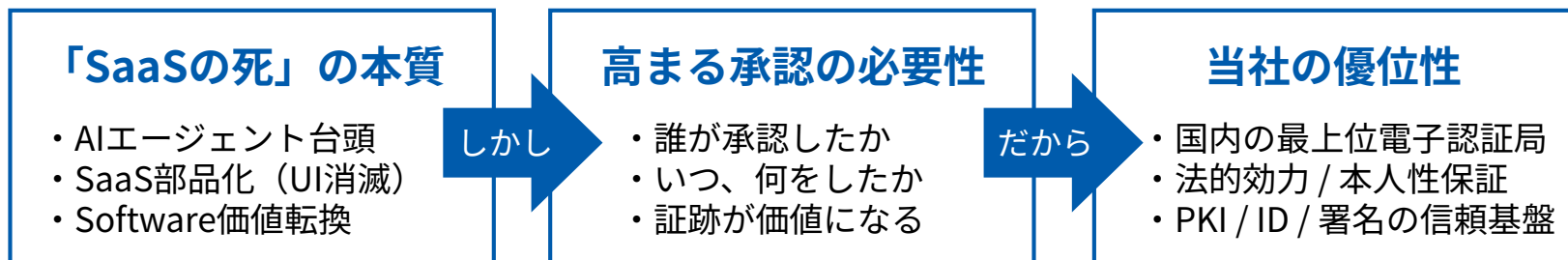
規制強化の追い風を捉え、サプライチェーンや医療向け
認証プランを戦略的にリリース

戦略

GMO AIコネクト社がグループジョイン。旺盛なAI需要を
背景に、知見を結集した次世代サービスを目指す

AIが普及するほど、当社の存在価値は高まる

AIによる業務代替が進展 → 認証・署名の重要性アップ → 当社の追い風



AIエージェント時代には、**誰が本物かを証明する会社**が必要。
私たちは、その信頼インフラを提供提供することで更なる成長に繋がります。



GMO AIコネクト株式会社 グループジョインのご報告

(旧 株式会社ストラテジット)

4月30日にグループジョイン、GMO AIコネクト株式会社のご紹介

GMO AI Connect

会社名	GMO AIコネクト株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー10階
代表者	加藤 史恵
設立	2019年7月
パートナー数	28名（正社員）2026年4月
所属団体	MIJS、一般社団法人ソフトウェア協会
コーポレートサイト	https://ai-connect.gmo

事業内容

■ 連携プラットフォーム提供／個別連携開発

AI・データ連携を支える統合プラットフォーム「JOINT AI Flow byGMO」を基盤に、生成AI・SaaS・オンプレミスなどの業務システムを連携し、業務効率化やDX推進を支援します。

JOINT *Ai* Flow
byGMO

■ SaaS導入支援サービス

クラウド型ERP「Oracle NetSuite」を中心に、SaaSの導入を支援します。要件定義～稼働支援に加え、個別カスタマイズや保守まで一気通貫で伴走します。

ORACLE
NetSuite
Alliance Partner

グループジョインの背景

1. 市場背景：AIエージェント時代、ガバナンス需要の高まり

- 生成AIは「質問に答えるツール」から「業務を自律遂行するAIスタッフ」へ。
- MCP（AIにデータを渡す規格）が業界標準として定着する中、社内システムとAIを安全にガバナンス統率を実現しながらつなぐ整備が企業のAI活用における最大の律速要因となっている

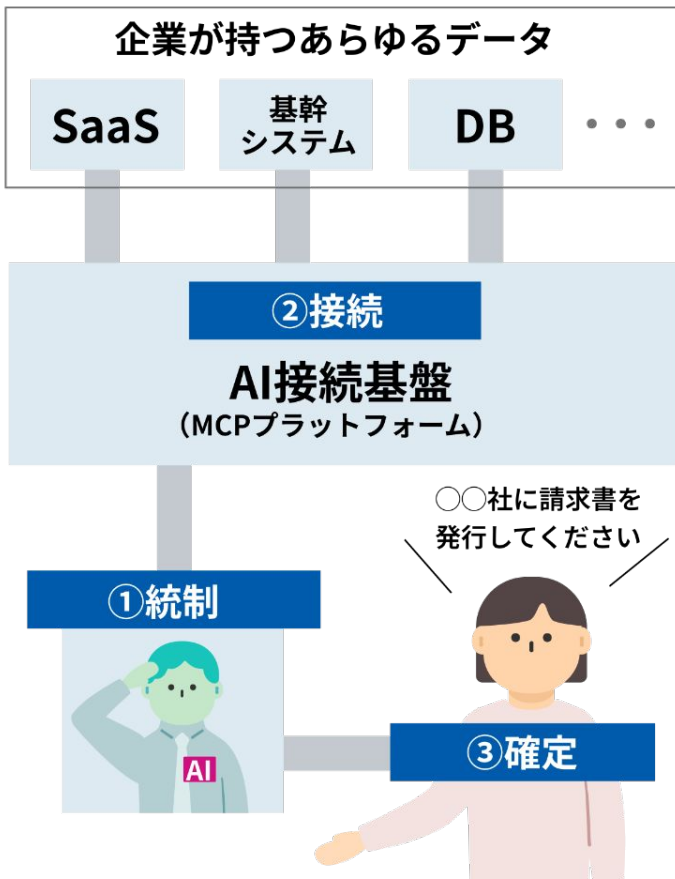
2. GMO AIコネクタについて：AIを安全につなぐ仕組み

- 116種類のAPIコネクタとMCPを組み合わせた企業向けAI接続基盤「JOINT AI Flow byGMO」を提供
- 主要AI（Anthropic・OpenAI・Google・Microsoft）の業界標準に即日対応済み
- 個別開発不要でノーコードによりAIと社内SaaSの接続・セキュリティ管理が一元完結

3. GMOグローバルサイン・ホールディングスのねらい

- 「統制（GMOトラスト・ログイン）→接続（JOINT AI Flow byGMO）→確定（電子印鑑GMOサイン / GlobalSign）」の3層構造でAI時代の信頼インフラを完成
- グループ既存顧客へのクロスセルによるARR拡大と2027～28年の単月黒字化を見込む

AIスタッフ (AIエージェント) が安全に自走できる次世代環境の提供



①統制：権限管理・アクセス記録

GMOトラスト・ログイン

- どのAIが・誰の指示で・何を操作したかを一元記録・制御
- 操作ログはJ-SOX対応の証跡として直接活用可能

②接続：AIと企業データをつなぐ

JOINT *Ai* Flow
by GMO

- SaaS・基幹システム・社内DBへの接続を1基盤に集約
- MCP対応済みで、今日からAIが116のシステムを操作可能

③確定：AIが行った業務を承認

電子印鑑なら
GMOサイン  GlobalSign
by GMO

- AIが実行した業務に電子署名で法的効力を付与
- 認定認証局として、AIの判断・承認を公的記録として確定

2026年12月期 第1四半期決算実績

売上高・営業利益ともに増収増益 重点商材は前期に引き続き高成長を維持

売上高

5,566百万円 前年同期比 **13.4%増**

- 電子認証・印鑑事業が成長を牽引

営業利益

430百万円 前年同期比 **50.8%増**

- 増収効果に加え、販管費の運用効率化により営業利益は大幅伸長

重点商材売上高

電子印鑑GMOサイン
28.7%増

GMOトラスト・ログイン
26.6%増

※前年同期比

売上・利益

(百万円)	2025年Q1実績	2026年Q1実績	前年同期比	2026年通期予想	進捗率
売上高	4,909	5,566	+13.4%	22,286	25.0%
営業利益	285	430	+50.8%	1,622	26.5%
経常利益	283	462	+62.9%	1,589	29.1%
親会社株式に帰属する 当期純利益	202	347	+71.7%	1,052	33.0%
EBITDA※	707	887	+25.4%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値。前期までは原価の減価償却費を含まず。今期より原価の減価償却費を含めているためQ1実績値も修正しています。

電子認証・印鑑事業は、重点商材が牽引し増収。 クラウドインフラ事業は、CloudCREW好調により増収増益。

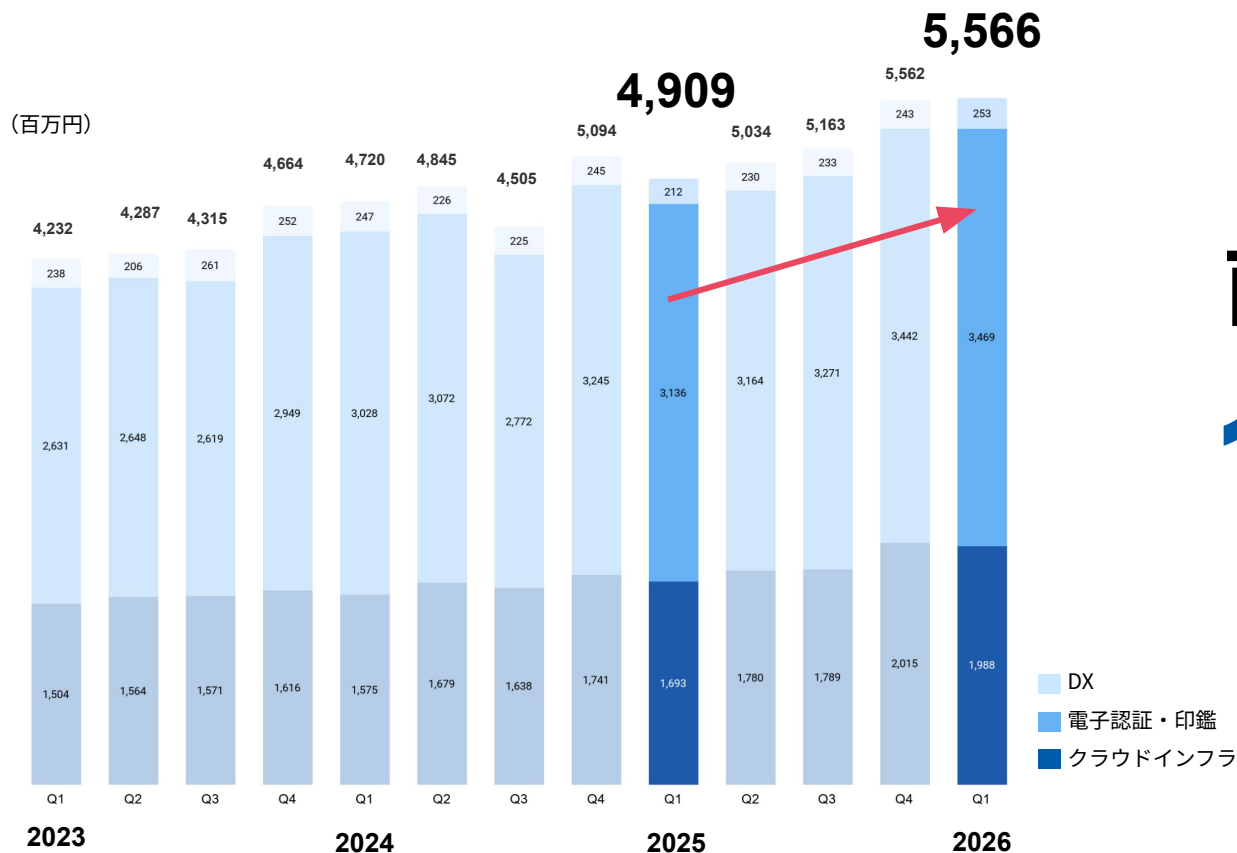
売上高

セグメント	2025年Q1	2026年Q1	前年同期比
電子認証・印鑑	3,136	3,469	+10.6%
クラウドインフラ	1,693	1,988	+17.4%
DX	212	253	+19.2%
消去又は全社	▲133	▲144	—
連結計	4,909	5,566	+13.4%

営業利益

セグメント	2025年Q1	2026年Q1	前年同期比
電子認証・印鑑	272	348	+27.7%
クラウドインフラ	45	88	+96.1%
DX	▲38	▲15	—
消去又は全社	5	8	—
連結計	285	430	+50.8%

四半期売上高推移

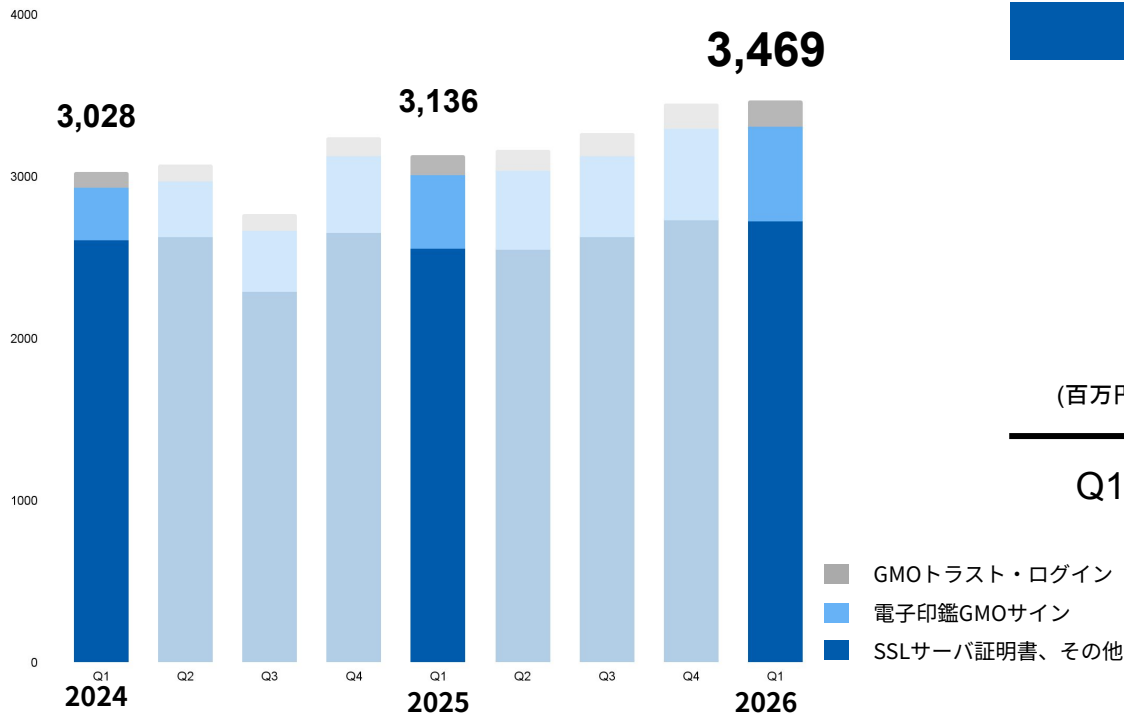


前年同期比
13.4%増
(25Q4比0.7%増)

- DX
- 電子認証・印鑑
- クラウドインフラ

重点商材（電子契約、ログイン認証強化サービス）が順調に成長

(百万円)



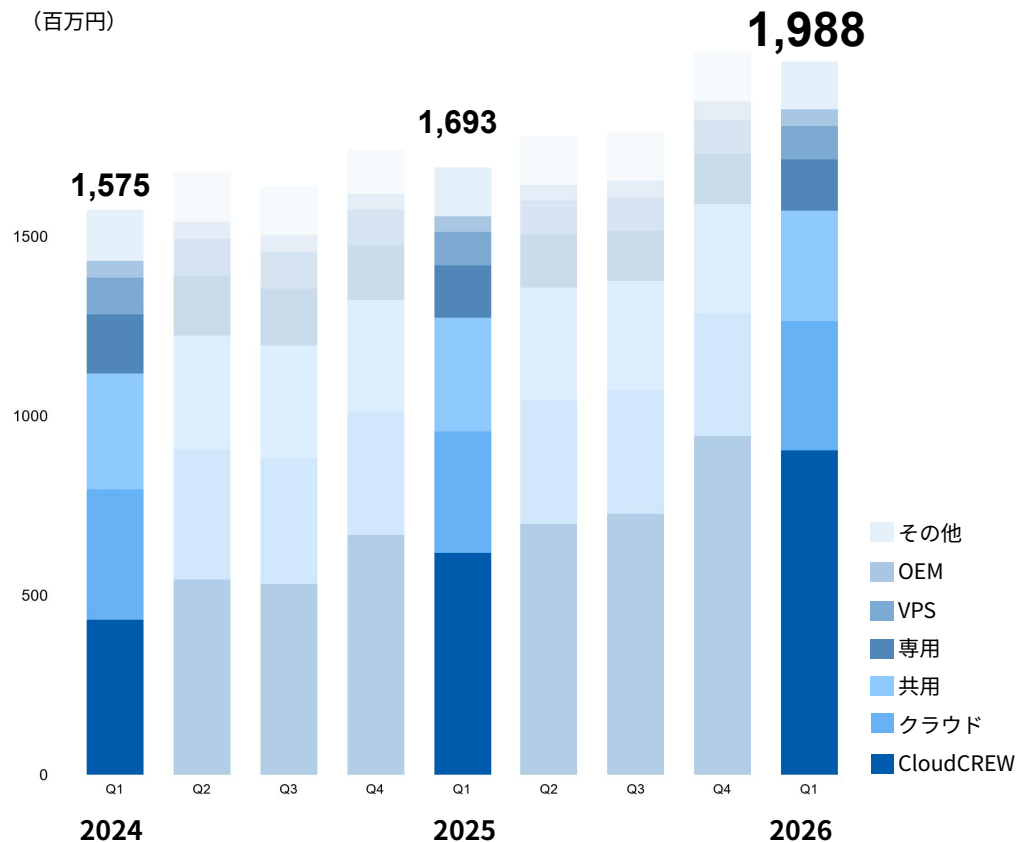
電子認証・印鑑事業 売上高

前年同期比
10.6%増

(百万円)	2025	2026	増減率
Q1	3,136	3,469	+10.6%

マネージドサービスの需要増加で「CloudCREW byGMO」が高成長

(百万円)



クラウドインフラ事業 売上高

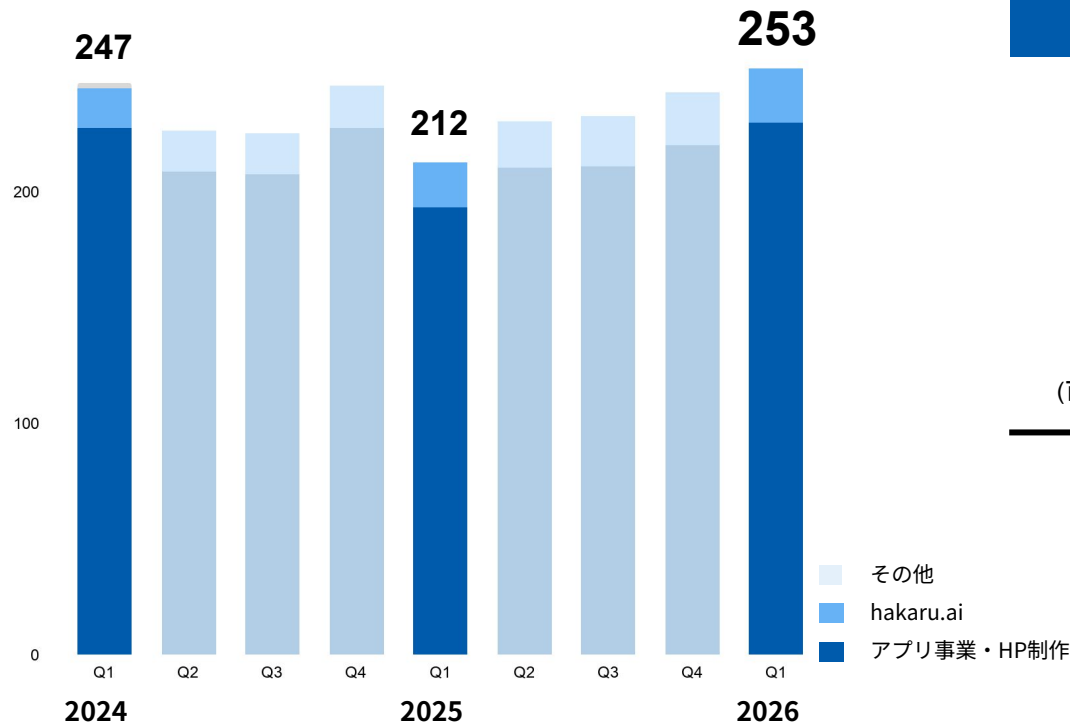
前年同期比
17.4%増

(百万円)	2025	2026	増減率
Q1	1,693	1,988	+17.4%

※クラウドインフラ事業における2026年12月期通期計画の修正予定は現時点ではありません

自治体や事業者が発行する紙の商品券をデジタル化するサービス 「GMOデジタルPay」の需要増で売上好調

(百万円)



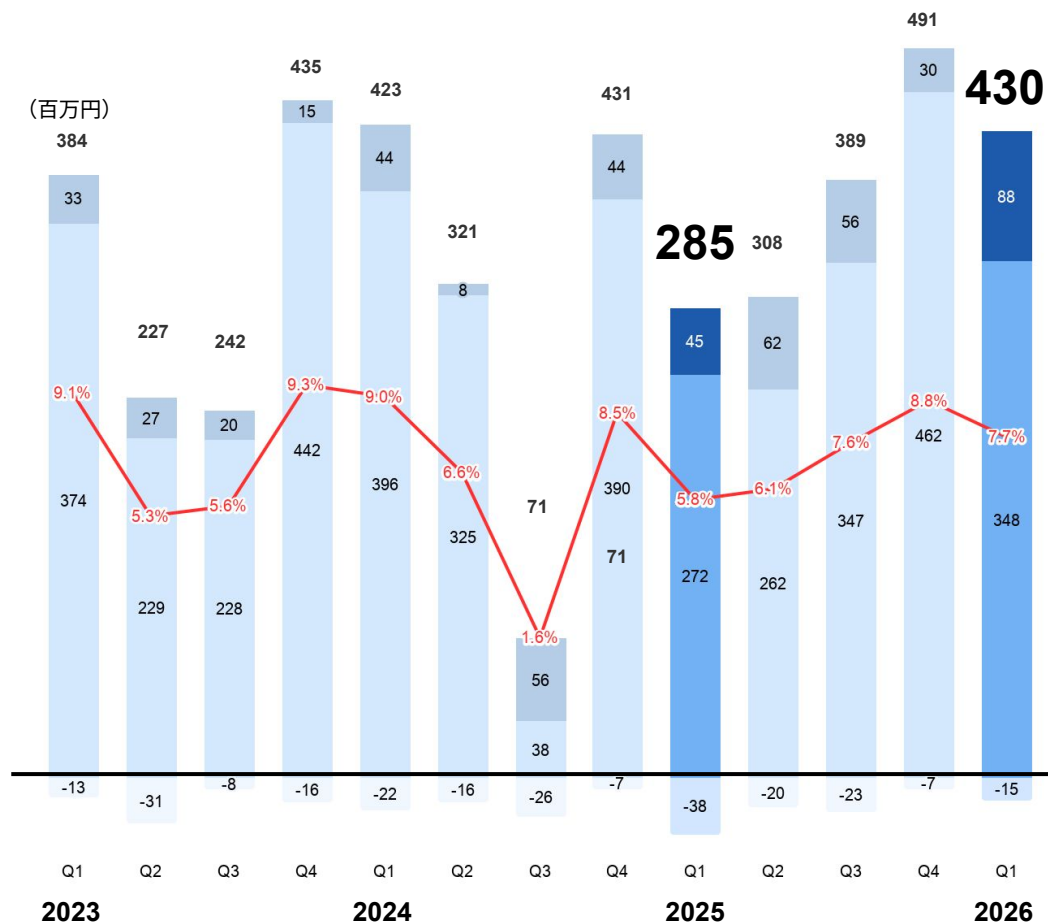
DX事業 売上高

前年同期比
19.2%増

(百万円)	2025	2026	増減率
Q1	212	253	+19.2%

- その他
- hakaru.ai
- アプリ事業・HP制作

四半期営業利益推移



前年同期比
50.8%増

- クラウドインフラ
- 電子認証・印鑑
- DX
- 売上高営業利益率

注力商材の状況

- 電子認証事業・SSL・クライアント認証 (GlobalSign)
- ログイン認証強化サービス (GMOトラスト・ログイン)
- 電子契約サービス (電子印鑑GMOサイン)
- マネージドクラウドサービス (CloudCREW byGMO)



電子認証事業・SSL・クライアント認証



証明書管理を効率化する「TLC Connect byGMO」をリリース

TLS Connect

by GMO

日本および北米、ヨーロッパ
など海外10拠点にて

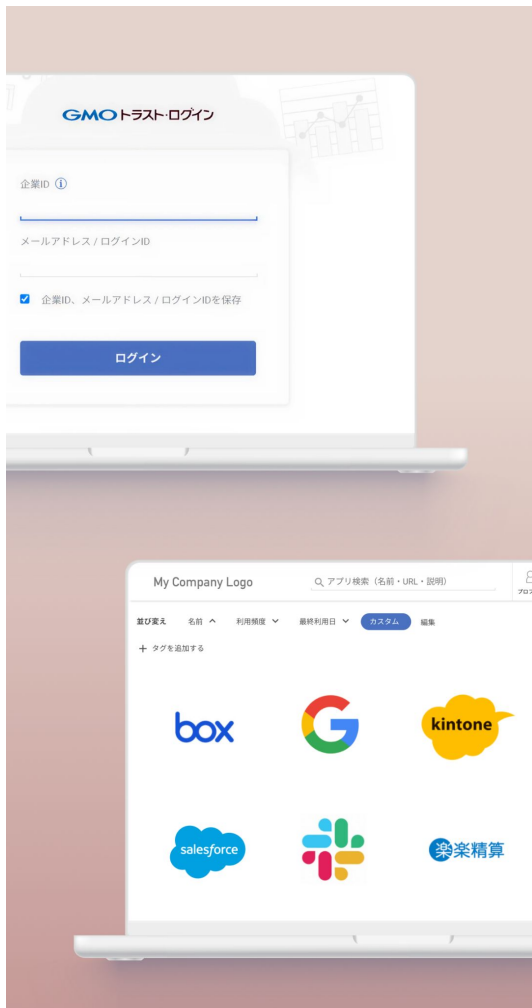
提供開始

背景

- SSLサーバ証明書の有効期限が短縮化。2029年には47日間に。
- セキュリティ対策需要が高まる社会背景から国際的な機関にて決定事項。

リリース

- 証明書の期限切れによるWebサイトや業務システムの停止リスクを抑制
- SSLの検出、取得、更新、適用、管理を効率化・専門知識不要。



ログイン認証強化サービス

GMO トラスト・ログイン

特定業界における認証強化の義務化・厳格化の流れが加速

トピック1

深刻化する医療機関へのサイバー脅威と法令による義務化に対応

背景

- 近年、医療機関を標的としたサイバー攻撃が深刻化
- 医療法に基づきサイバーセキュリティ対策が「遵守義務」

リリース

- 3/30 ガイドラインが求める高度な認証と持続的な安全を実現する医療特化型プランをリリース

トピック2

経産省の新評価制度（SCS）に対応認証義務化対応プランを戦略投入

背景

- 社外ユーザーによる企業のポータルサイトや業務システムへアクセス増
- 取引先を踏み台とした侵入を防止

リリース

- 4/7 自社のみならず取引先・パートナー企業からのID利用を管理する「サプライチェーンIDプロテクト」をリリース

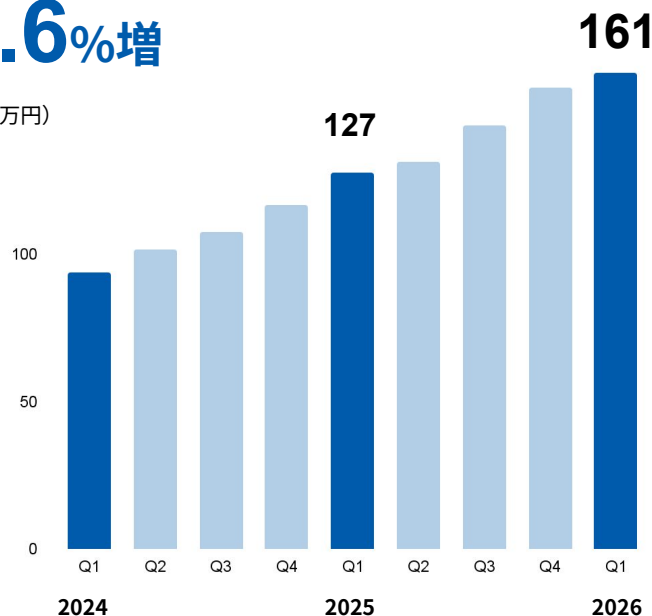
サポートオプション販売強化。単価アップ×契約数増加で増収

売上高

前年同期比

26.6%増

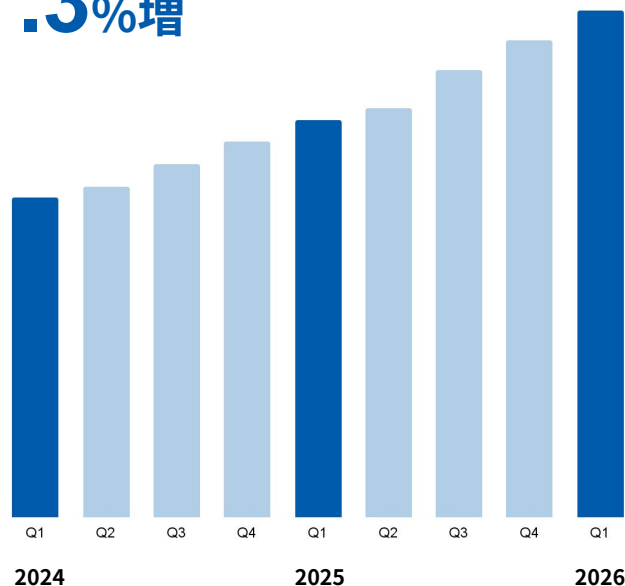
(百万円)



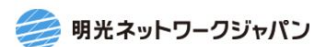
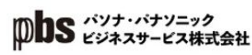
有料ID数

前年同期比

27.3%増

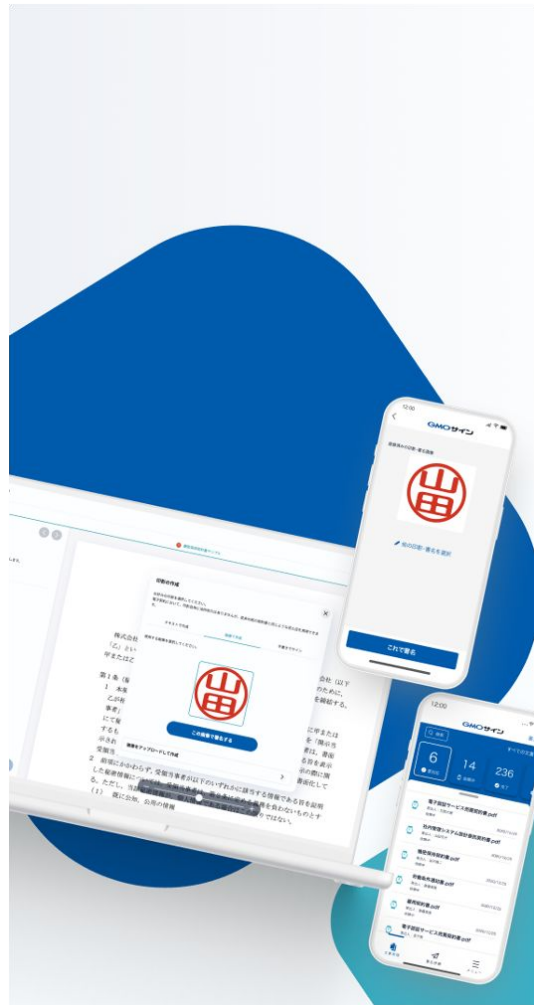


大企業から数十人規模まで、導入いただいています。



電子契約サービス

電子印鑑なら GMOサイン



あらゆる文書に対応「eシール（電子社印）」提供開始

契約印タイプ	実印タイプ	NEW 組織印タイプ
<p>メール認証で 本人性を担保</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">• 業務委託契約書• 秘密保持契約（NDA） <p>など</p>	<p>電子認証局が審査・ 発行した電子証明書で 本人性を担保</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">• 株式譲渡契約• 金銭消費貸借契約 <p>など</p>	<p>eシール用 電子証明書で 組織の正当性を担保</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">• 見積書、請求書• IR／広報資料 <p>など</p>

利便性向上の一方で、発行元組織のなりすましや公式文書の改ざんといったデジタル詐欺が新たな社会課題。

あらゆる文書のデジタル化に。eシールとタイムスタンプで真正性を担保

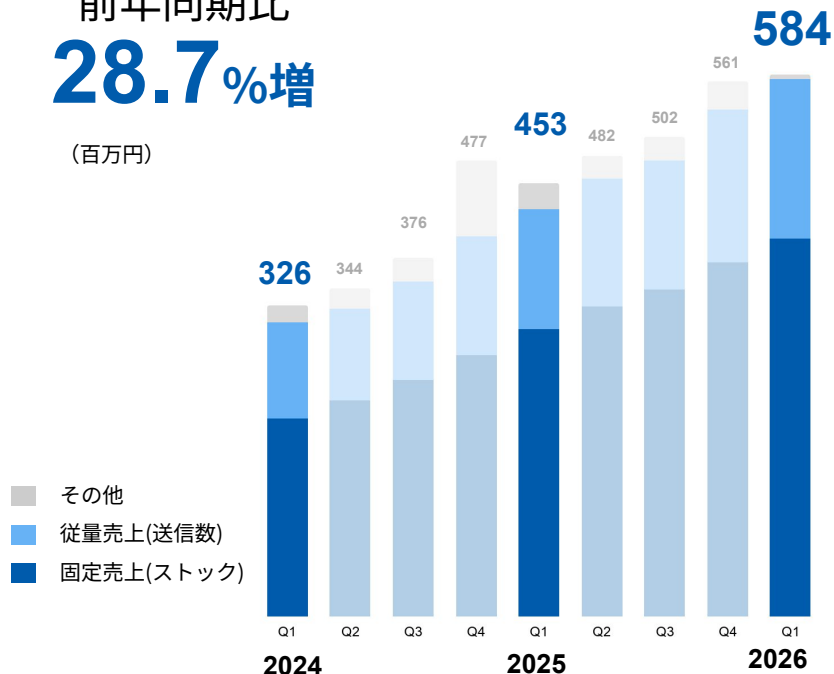
売上高、ARRともに高成長を継続。岩盤ストック収益の拡大

売上高

前年同期比

28.7%増

(百万円)



ARR※1

前年同期比

31.8%増

(百万円)



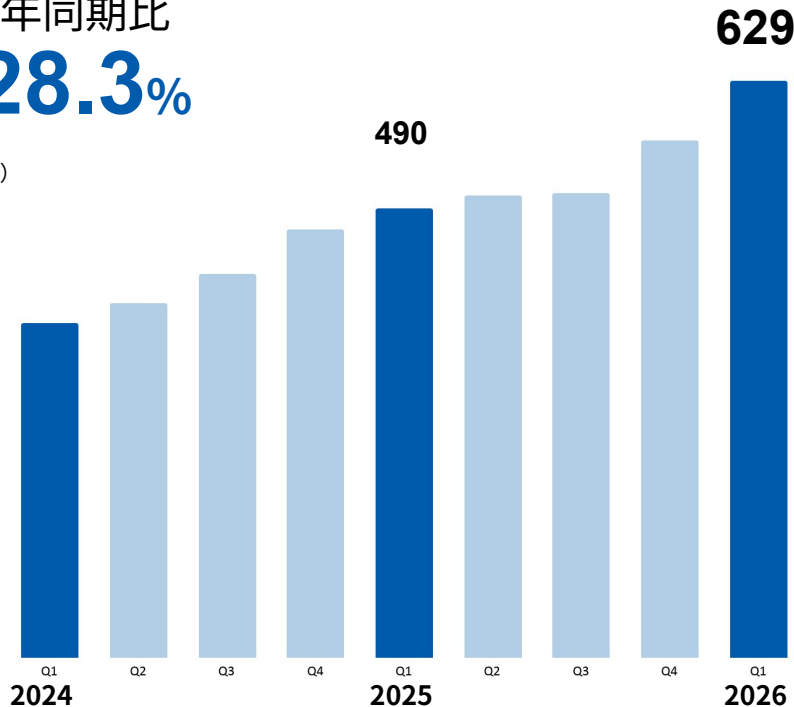
契約の送信数も堅調に増加。電子署名利用シーンも拡大

契約送信件数※2

前年同期比

+28.3%

(万件)



国内上場企業の

約**84%**が

利用中

累計 **5,000** 万件 送信達成

契 約
送信件数 **No.1**

※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）

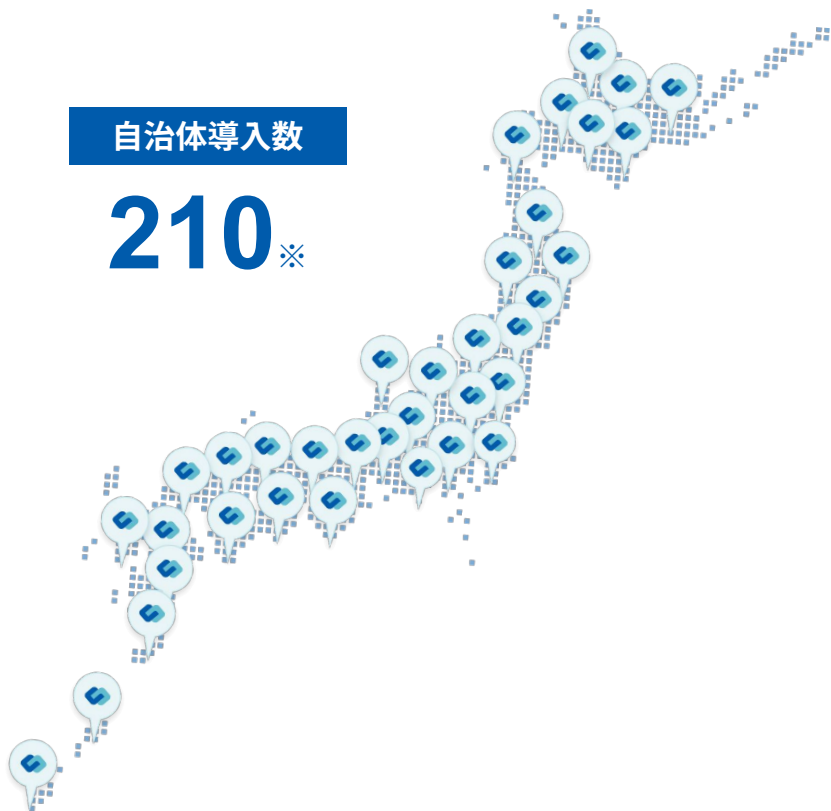
※2 四半期毎の契約送信件数を集計。2025年第1四半期における大量のテスト送信（無料）を除外して集計。

※3 2026年3月末時点「GMOサイン」利用企業数3,276社と2026年3月末時点日本証券取引所の公式サイトで公表中の上場企業数3,920社から算出

電子公印とセキュリティ認証で自治体導入数でも**No.1**を目指す

自治体導入数

210※



導入自治体 (一部抜粋)

東京都	北海道	大阪府	群馬県	神奈川県	静岡県
滋賀県	岡山県	広島県	山口県	熊本県	大分県

取得済認証一覧

- ISO/IEC27001 (情報セキュリティ)
- ISO/IEC27017 (クラウドサービスセキュリティ)
- ISMAP登録
- SOC2 Type2保証報告書受領
- JIIMA認証

LGWAN (総合行政ネットワーク) 対応

※ 2026年3月31日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

金融機関・不動産業界・小売業など多くの大手企業に導入

MIZUHO みずほ銀行

大和証券
Daiwa Securities

MUFG 三菱UFJ銀行

よろこびがつなく世界へ
KIRIN

BMW GROUP
BMW MINI

LINEヤフー

kikkoman

Menicon

横浜銀行

東急リバブル

ORIX オリックス生命

MIZUNO

TIPPRESS フィットネスクラブ
ティップネス

鹿島
KAJIMA CORPORATION

ヤマト運輸

Francfranc

UNITED ARROWS LTD.

「心躍る」を
解き放つ **HIS**

PASONA

エステティック
TBC

GO
移動で人を幸せに。

毎日コムネット

OPEN HOUSE

NEDO

三井住友トラスト不動産

DAISO
ダイソー

CURRY HOUSE カレー番屋
CoCo

MISAWA ミサワホーム

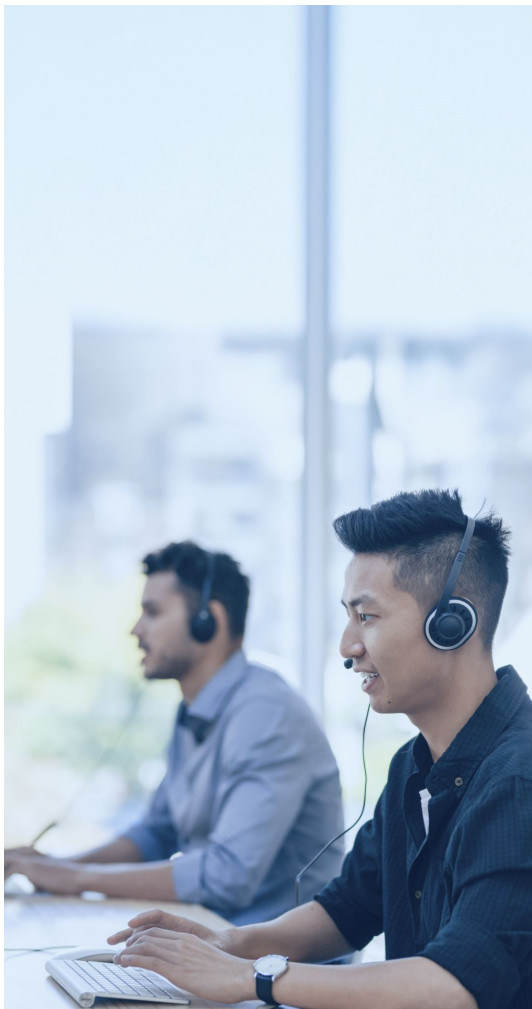
KEIO 京王電鉄

CAINZ

YAMADA HOMES

YKK AP

H₂O RETAILING



マネージドクラウドサービス

 **CloudCREW**
by **GMO**

大型案件獲得、高収益のマネージドサービス好調により増収増益



背景

- AI普及でデータ分析需要が急増
- 既存AWS環境へのAI活用ニーズが増加

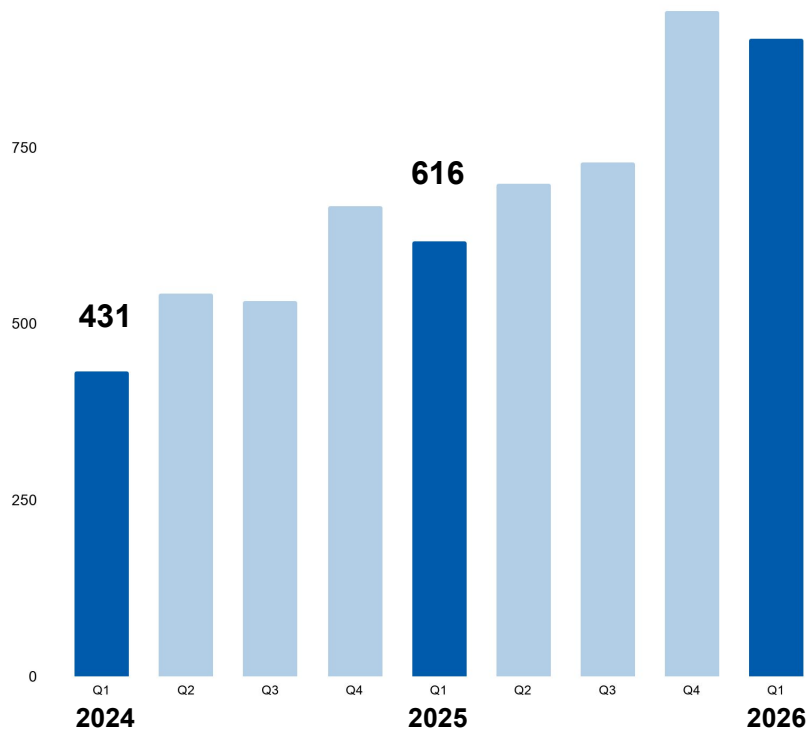
リリース

- Amazon quick販売開始
- 要件ヒアリングから、Amazon Quick導入
 - ・セットアップ、その後のチューニングまでワンストップで対応

マネージドサービスの好調により、強い成長モメンタムを維持

(百万円)

903



売上高
前年同期比
46.5%増

(百万円)	2025	2026	増減率
Q1	616	903	+46.5%

売上高・営業利益ともに増収増益 重点商材は前期に引き続き高成長を維持

売上高

5,566百万円 前年同期比 **13.4%増**

- 電子認証・印鑑事業が成長を牽引

営業利益

430百万円 前年同期比 **50.8%増**

- 増収効果に加え、販管費の運用効率化により営業利益は大幅伸長

重点商材売上高

電子印鑑GMOサイン
28.7%増

GMOトラスト・ログイン
26.6%増

※前年同期比

2040年、信頼できる社会インフラ企業へ

Next 2040

信頼を設計し、世界をつなぐ。

Designing trust. Connecting the world.

私たちは、インターネットが信頼できる情報でつながり、透明性のある世界を目指しています。それは、見えない信頼を、確かな技術で「設計」し、誰もが安心して使える仕組みにすること。信頼に満ちた社会インフラの発展に貢献し、この領域で世界シェアNo.1に挑みます。

コトをITで変えていく。



参考資料

参考資料目次

- 会社概要
- 企業理念
- 当社の強み
- 事業領域（主要サービス）
- サービス紹介
- 連結損益計算書
- 連結貸借対照表
- 営業利益増減分析
- 販売管理費及び一般管理費の四半期推移
- Q3セグメント別予想対比
- GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信メディア一覧
- 免責事項

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

証券コード	3788（東証プライム）
設立	1997年5月（当時：株式会社アイル）
事業内容	電子認証・印鑑事業（盗聴・改ざん・なりすまし防止・ログイン認証強化、電子契約） クラウドインフラ事業（クラウド・レンタルサーバー） DX事業（O2Oアプリ、IoT関連）
主要株主	GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム：9449） ※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
連結企業群	15社 連結12社（国内5社、海外7社）非連結3社（2025年12月末現在）
パートナー数	997名（2026年3月末現在）非連結含 正社員数のみ

GMO グローバルサイン・HD
● GlobalSign



One GlobalSign Way

企業理念

Mission

私たちの使命

コトをITで変えていく

この地球の果てから果てまで、すべての人に私たちのサービスを届けたい。
どんなに優れたITサービスでも、一部の人にしか使えないのでは意味がありません。

もっと気軽に、もっとわかりやすく。ありとあらゆる人々に。

新たな体験価値に出会って欲しい。

それは、私たちの創業時からの変わらぬ願いです。

ITのチカラが私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。

その変化がアタリマエになった時、どんな社会が実現するのでしょうか？

コトをITで変えていく。

便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。

それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

Value

私たちの価値観

ワクワク

Vision

私たちの目指す姿

One & 1st

One

ひとつになる。

インターネットという広大な空の下、新たに生まれた事業は、それぞれに大きくなってきました。

これからも画期的な価値を社会に提供していきたい。

そのためにひとつという思いを共有し、シナジーを生み出せれば、もっと面白いこと、もっとすごいことが、きっとできる。

1st

失敗を恐れない。

はじめては誰でもこわい。

誰も挑んだことがないところに、ワクワクがある。

誰もやったことのないコト見慣れたものの中にある誰も気づいていないコトこれ

までも、これからも、

私たちは意欲的に「はじめて」を

追い求め、日本初、世界初を

生み出していきます。

デジタル社会の 信頼と安全を支える インフラ企業

GMO グローバルサイン・HD
● GlobalSign

私たちは、電子認証を中心に、クラウド、レンタルサーバー、DX、電子印鑑など、社会のデジタル化を下支えするサービスを展開しています。

“見えないところで信頼を設計する”技術力を強みに、安全で透明性のあるインターネット社会の実現に貢献します。

価値成長を生む、当社の強み

1. 国内シェアNo.1、世界が信頼する**電子認証局**を運営
2. 持続的成長を支える22の**岩盤ストック収益**
3. 230超の国と地域で導入実績、**グローバル基盤**

価値成長を生む、当社の強み | 1. 信頼の電子認証局

国内
シェア

No. 1 ※1

日本発、世界が信頼する電子認証局 ※2

※1 2025年2月時点 英Netcraft社「SSL Survey by Hosting Country」有償SSL認証局ルート別 ※2英Netcraft社「Netcraft SSL Survey」調べ 有償発行枚数

運用実績 **30**年

ウェブブラウザからの高い信頼

GlobalSign
ルート証明書
搭載率

99.9%



Google

Microsoft

Mozilla

GlobalSignの証明書を使用した電子署名数

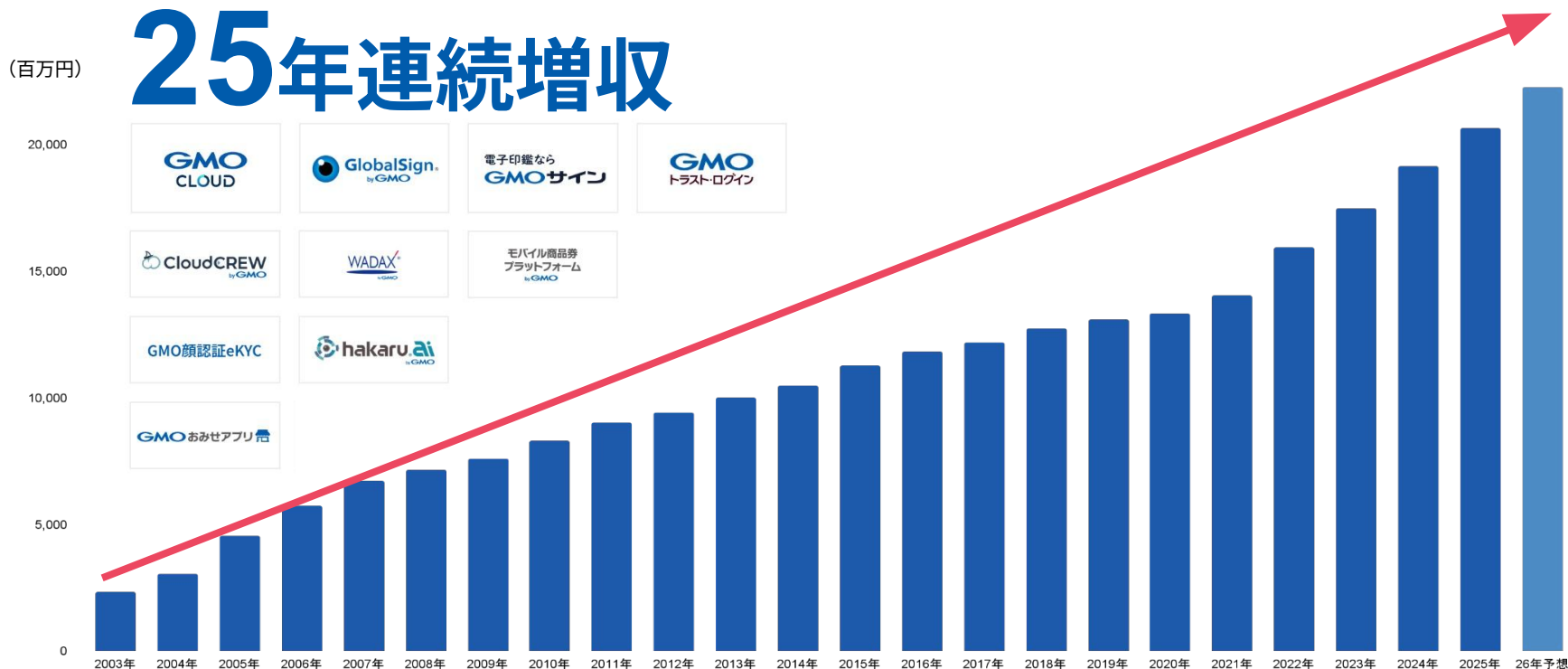
500 月間
万

電子印鑑なら
GMOサイン

docuSign
Bringing Agreements to Life

Adobe Acrobat Sign

持続的成長を支える21のストック型事業



健全な財務体質と、
成長を支える
キャッシュ創出力

自己資本比率

54.6%

ネットキャッシュ

63億円

営業キャッシュフロー

28億円

営業キャッシュフローマージン
13.7%

自己資本比率 : 「純資産÷総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。

ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。

営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

※2025年12月末現在



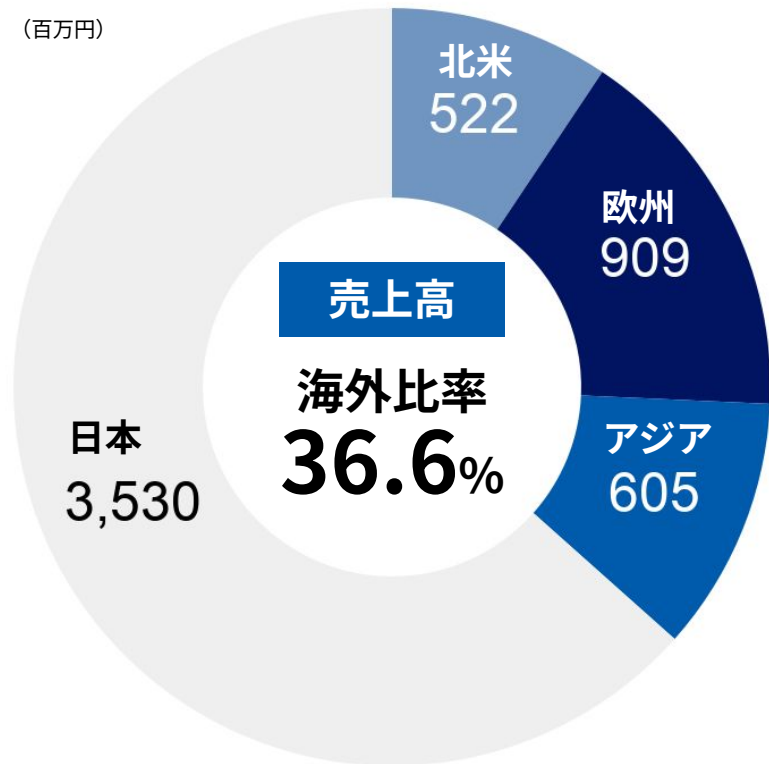
230を超える 国と地域で サービス導入実績



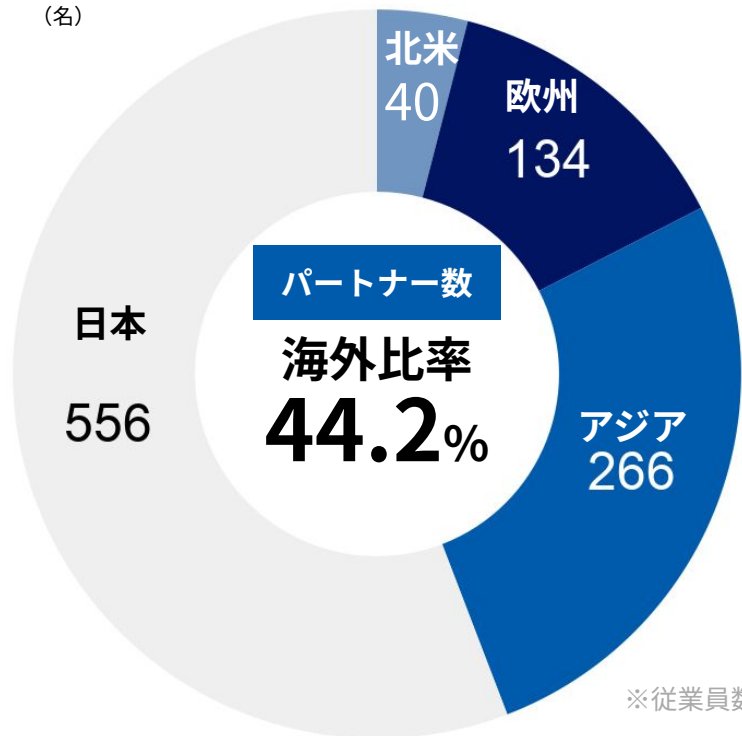
価値成長を生む、当社の強み | 3. グローバル展開

グローバル基盤を活かし、さらなる成長ステージへ

(百万円)



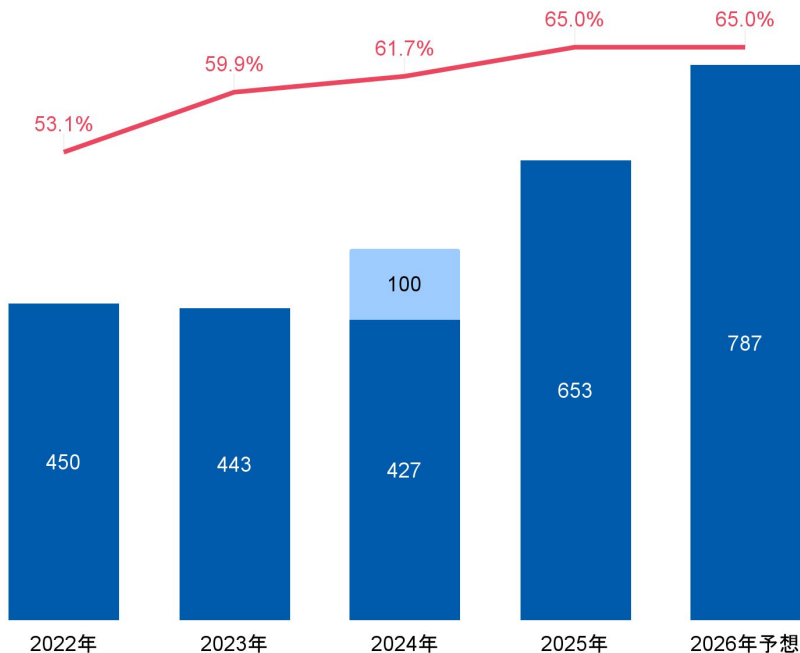
(名)



※従業員数

株主還元の拡充

- 株主還元安定化のため、株主資本配当率（DOE）基準（配当下限）を追加導入。
- 自己株式の取得を実施（取得期間は2025年11月17日～2026年1月30日）



配当性向
65%以上

- 総還元性向 (%)
- 自己株式取得額 (百万円)
- 配当総額 (百万円)

事業領域（主要サービス）

セキュリティでインターネットの安全を支える

電子認証・印鑑事業

電子認証・ID管理



GMOトラスト・ログイン

電子印鑑なら
GMOサイン

クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤の提供



GMO CLOUD

AI・クラウド活用で
企業のDXを支援する

DX事業

より便利で簡単な
AI・クラウドサービスの提供

GMO おみせアプリ

GMO
デジタルPay



電子認証を活用したSSLサーバー証明書

電子認証とは

「誰が」「何を」したかを証明する、認証の基本技術です。
信頼できる第三者（電子認証局）が、人や組織が**本物であることを確かめ、証明書を発行**します。万が一、問題があれば、すぐに無効化もします。
当社はこの仕組みを活用し、見えない相手とも安心してつながれる「インターネットの防犯システム」を提供しています。

解説!

SSLサーバー証明書とは

Webサイトが“本物の会社”であることを証明し、安全な通信を保証する仕組みです。
URLが「https://」で始まり、鍵マークが表示されているのは証明書の存在によるものです。

GMOグローバルサインは、この証明書を提供する**国内No.1・世界トップ4の電子認証局**です。



インターネット通信の安全を支える3つの柱を提供

電子認証局

信頼基盤の提供

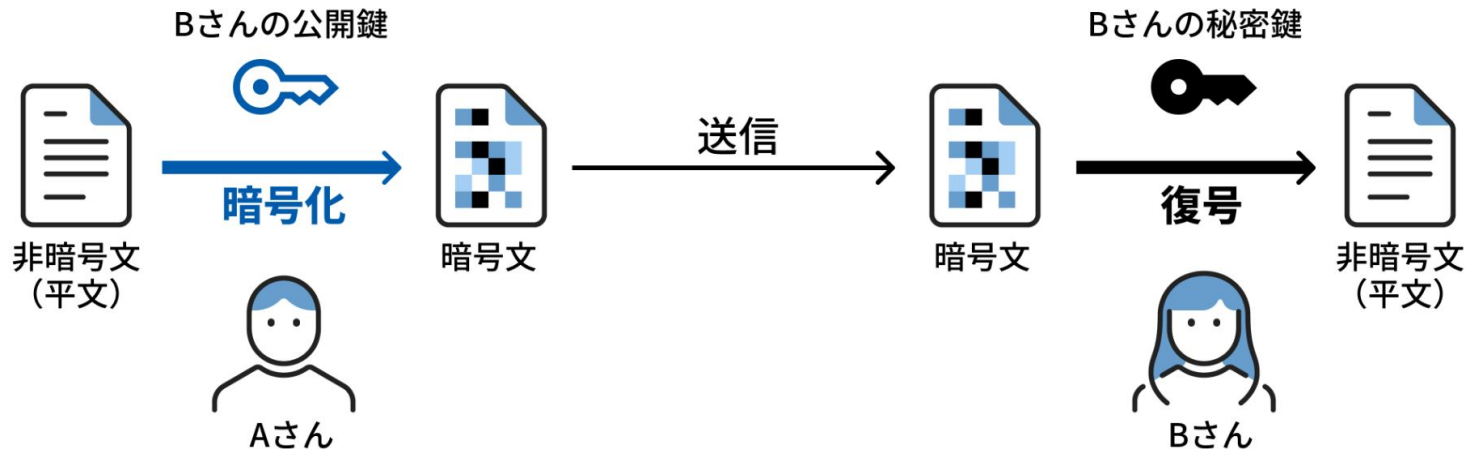
PKI（公開鍵暗号基盤）

暗号技術による
安全な通信の仕組み

SSLサーバー証明書

データを安全にやり取り
するための通信ルール

PKI(公開鍵暗号基盤) の仕組み



10,000社以上が導入、ログインIDはひとつだけ

シングルサインオン (SSO) とは

解説!

一度のログインで、複数のサービスを安全に利用できる仕組みです。

これまで個別に入力していたIDやパスワードを統一することで、利用者の利便性を高めるとともに、企業のセキュリティ管理を強化します。社員が社内外のさまざまなクラウドサービスを使ういま、業務効率化と情報漏えい防止の両面で欠かせない技術となっています。

増え続けるIDを一言管理、セキュアな業務環境を

一度のログインで複数のサービスを安全に使えるシングルサインオンサービスです。

10,000社以上の導入実績、8,500以上のアプリと連携。

ISO/IEC 27001および27017の国際認証を取得し、過去12か月の稼働率99.99%という高い安定性を実現。さらに、SSL認証局として30年以上の実績を持つGlobalSignのセキュリティ運用ノウハウを基盤としています。



GMO トラスト・ログイン

日本で最も使われている電子契約サービス

電子契約サービスとは

解説!

いままで紙にハンコで押印していた業務を電子化し、業務効率化と印紙税などのコスト削減ができるサービスです。
「だれ」が「いつ」「何に」署名をしたかの証跡を、改ざんができない形でPDF文書に書き込む技術です。この技術を活用し、契約シーンのみにしぼられず、公文書交付や、卒業証明書、医療同意書などのシーンへの活用がはじまっています。

確かな署名×豊富な機能×料金比較最良

電子印鑑GMOサインは、「誰が署名したか」を第三者が証明する「確かな署名」と、利便性の高い署名を使い分けられる電子契約サービスです。

当社の電子署名技術、タイムスタンプや認証技術を自社の技術資産を活用することで、安価かつ高品質なサービスを提供しています。

社会の業務効率化と紙削減に貢献し、日本で最も使われている電子契約サービスへと成長しています。



ARR
年間成長率
35~45%

電子印鑑なら
GMOサイン

電子印鑑GMOサインが提供する信頼

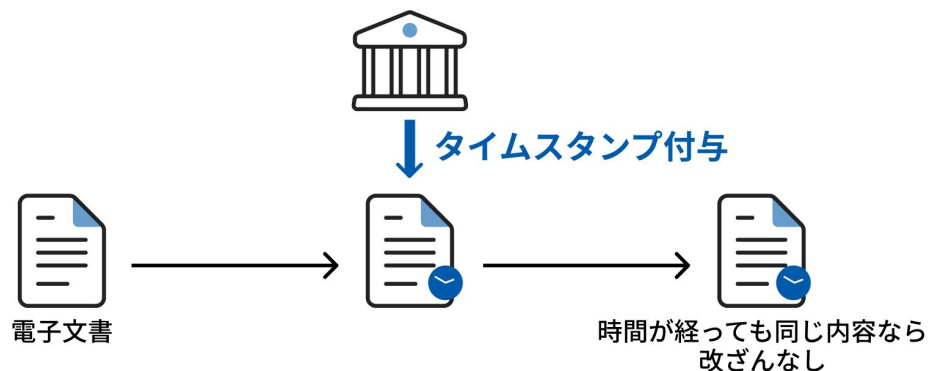
電子署名として一般的なメール認証（立会人型）に加え、実印相当の高い信頼性のある当事者型署名も提供。

非改ざん性を保証するタイムスタンプを標準提供。自社で電子認証局を運営しているからこそできる、信頼性の高い電子契約を提供しています。

電子契約の「安全性」確保



タイムスタンプの仕組み



さらなるセキュリティ需要にも対応

ネットのセキュリティも

GMO

すべての人に安心な未来を

診断

相談

運用

当社サーバーの他、AWS・Google Cloud
にも対応する、クラウドサーバーのセキュリ
ティマネジメントサービスをご提供

年々高まるセキュリティ需要に対応

GMO CLOUD

 **CloudCREW**
by **GMO**



• Public Sector
• Solution Provider
• Migration Services
• Competency

• Public Sector Solution
• Provider
• Well-Architected Partner
• Program

日本初のレンタルサーバーとしてスタートし、29年
の運用実績を誇る老舗ブランド。
クラウド・レンタルサーバーを中心に、多様なニーズ
に応えるラインナップを展開し、サーバーの設定や運
用を代行するサービスも提供しています。

AWSやGoogle Cloudなど複数のクラウド環境を
対象に、運用を代行するマネージドサービスを提供。
セキュリティ対策に関するご相談にも幅広く対応し
ています。

なりすましメールを防ぐVMC（企業ロゴ所有証明書）

VMC（企業ロゴ所有証明書）とは

近年増加の一方の、**企業になりすました悪意あるフィッシング詐欺メールなどを防止**するため、メールの送り主が**確かな企業からであることを証明**します。

このVMCにより、メールの受信者は安心して企業からのメールを受け取ることができるようになります。

解説！

なりすましメール対策支援サービス

VMCを使って、企業からのメールにロゴを表示することをBIMI（なりすましメール対策設）といいます。

このBIMI導入するためにはサーバー・DNSなどの専門的な知識が必要となります。この課題を解決すべく、インターネットインフラ運用のノウハウある当社が、**VMCの発行からロゴを表示させる設定までをワンストップで対応**するサービスを提供開始しました。



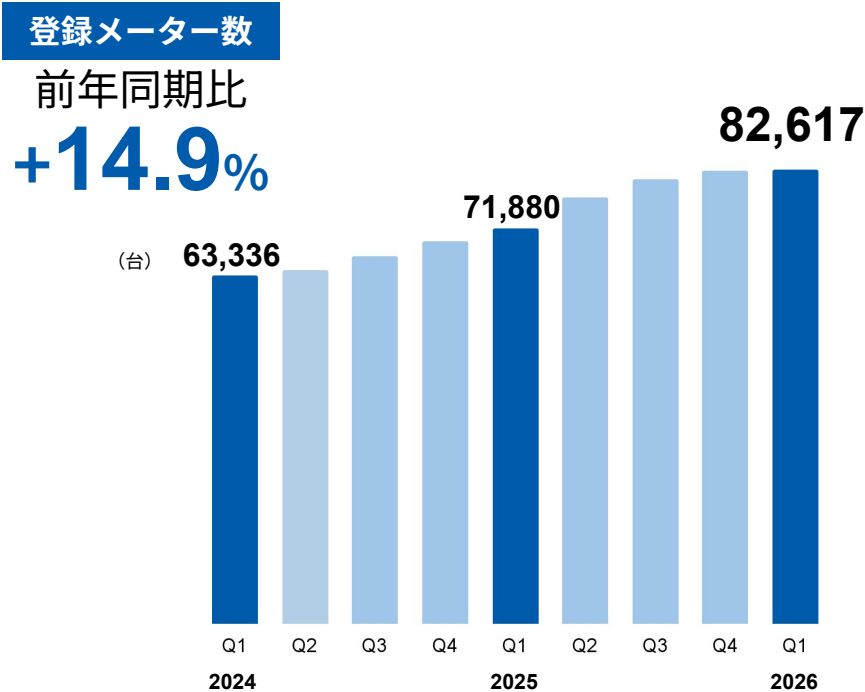
グローバルサインは、**世界で3社、国内企業唯一**、VMC証明書を発行できる電子認証局です。

高い実績と信頼性が必要となるため、新規参入は難しく、競合は限られています。

あなたの会社、
“なりすまし”
されていませんか？



高齢化による人手不足を背景に、点検現場の“身体拡張テクノロジー” 活用が広がり、売上が堅調に推移



契約企業（一部抜粋）

-  株式会社 菱サ・ビルウェア
-  KOBELCO 神戸製鋼グループ
-  ROHM SEMICONDUCTOR
-  TAISEI
-  B stem 株式会社 Jリマビステム
-  SEiBI
-  OKAI BUILDING SERVICE 藤海ビルサービス株式会社
-  NTK株式会社
-  JFE
-  企画開発・設計・施工・管理 株式会社 アドバンス・シティ・プランニング

連結貸借対照表

単位：百万円	2025年12月末	2026年3月末	増減率
流動資産	12,901	13,217	+2.4%
（現金預金）	8,936	9,403	+5.2%
（売掛金及び契約資産）	2,894	2,760	△4.2%
固定資産	6,061	6,084	+3.8%
（ソフトウェア）	4,275	4,315	+0.9%
（投資有価証券）	306	314	+2.7%
資産合計	18,963	19,302	+1.8%
負債	8,612	9,242	+7.3%
（契約負債）	2,922	3,159	+8.1%
（借入＋リース債務）	2,695	3,170	+17.6%
純資産	10,350	10,060	△2.8%
（株主資本）	8,227	7,894	△4.0%
（その他包括利益）	2,100	2,139	+1.8%
（非支配株主持分）	22	26	+16.6%
負債・純資産合計	18,963	19,302	+1.8%

連結損益計算書

単位：百万円	2025年Q1	2026年Q1	増減率
売上高	4,909	5,566	+13.4%
売上原価	1,988	2,356	+18.5%
売上総利益	2,921	3,210	+9.9%
販売費及び一般管理費	2,636	2,780	+5.5%
(人件費)	1,512	1,565	+3.5%
(プロモーション費)	323	356	+10.1%
(減価償却費)	207	186	△10.1%
営業利益	285	430	+50.8%
(営業利益率)	5.8%	7.7%	—
経常利益	283	462	+62.9%
税金等調整前当期純利益	283	462	+62.9%
法人税等	79	111	+40.0%
親会社に帰属する当期純利益	202	347	+71.7%

通期業績予想

(百万円)	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (予想)	2025年比
売上高	20,670	22,286	+ 7.8%
営業利益	1,475	1,622	+ 10.0%
経常利益	1,435	1,589	+ 10.7%
親会社帰属利益	1,005	1,052	+ 4.7%
1株当たり 純利益(円)	87.55	91.79	-

通期業績予想（セグメント別）

売上高

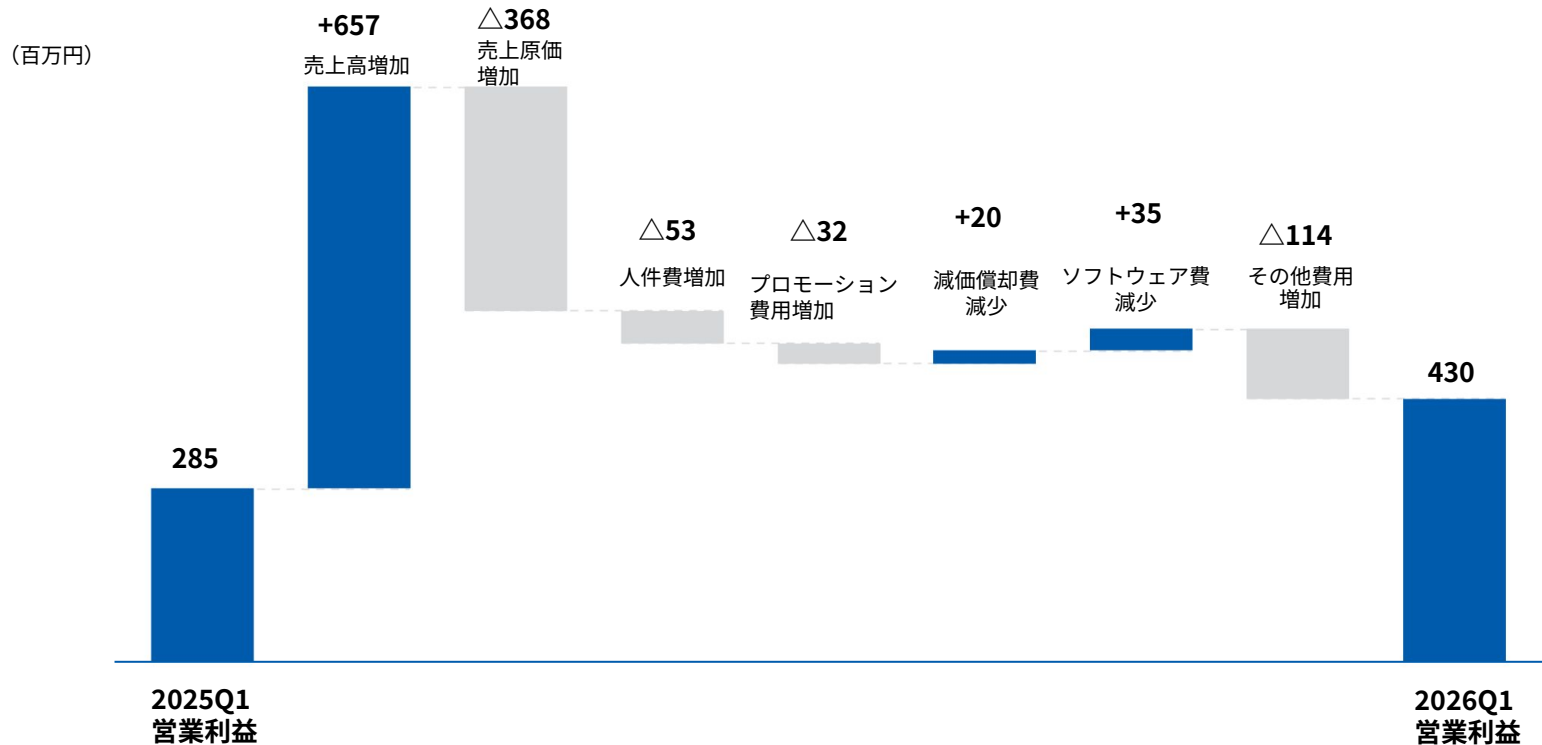
セグメント	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (予想)	2025年比
電子認証・ 印鑑	13,016	14,353	+10.3%
クラウド インフラ	7,279	7,482	+2.8%
DX	919	1,046	+13.8%
消去又は 全社	▲543	▲597	—
連結計	20,670	22,286	+7.8%

営業利益

(百万円)

セグメント	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (予想)	2025年比
電子認証・ 印鑑	1,343	1,612	+20.0%
クラウド インフラ	194	0	—
DX	▲89	▲48	—
消去又は 全社	26	58	—
連結計	1,475	1,622	+10.0%

営業利益増減分析

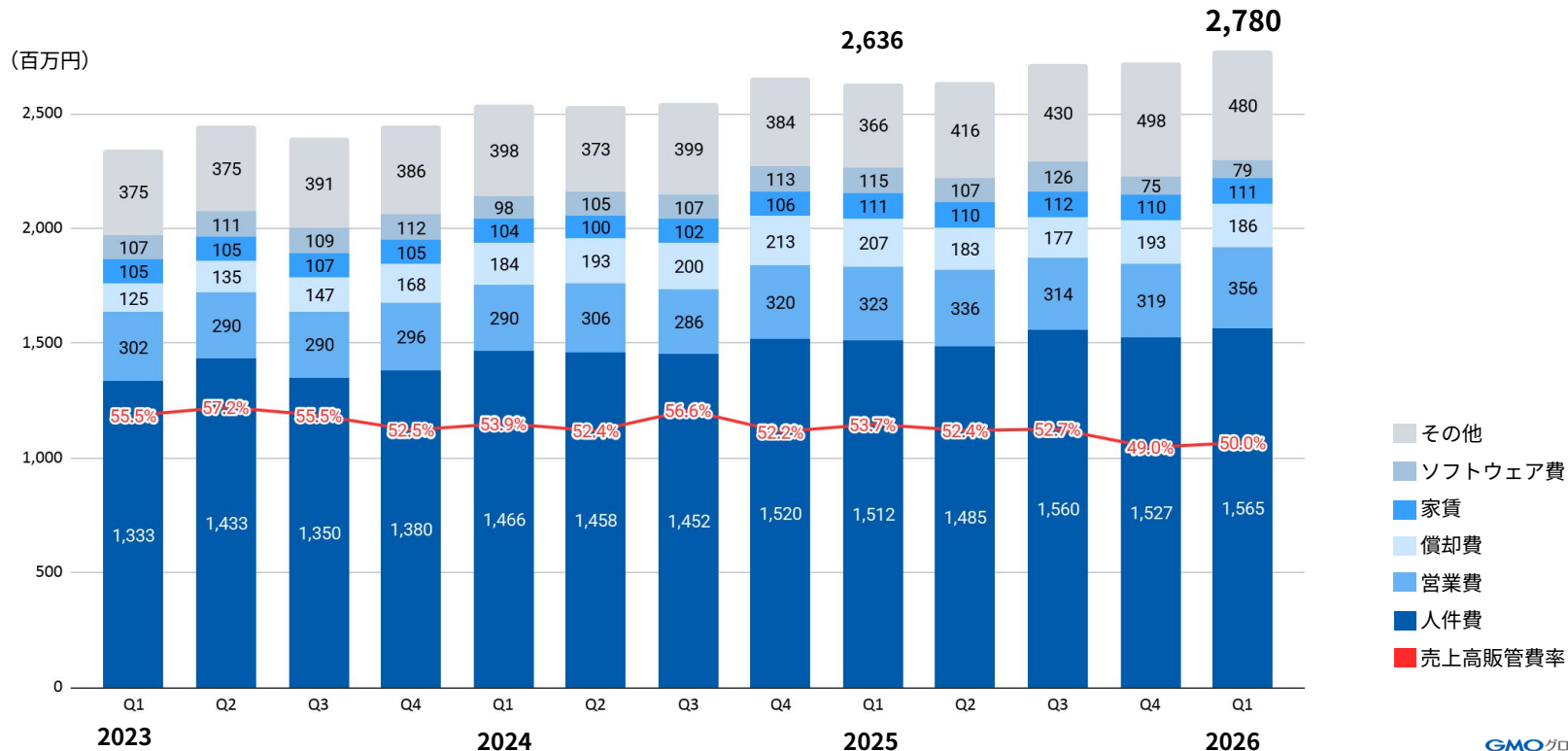


販売管理費及び一般管理費の四半期推移

販管費：27億8,000万円（対前年同期比 +1億4,400万円 +5.5%）

└人件費：15億6,500万円（対前年同期比 +5,300万円 +3.5%）

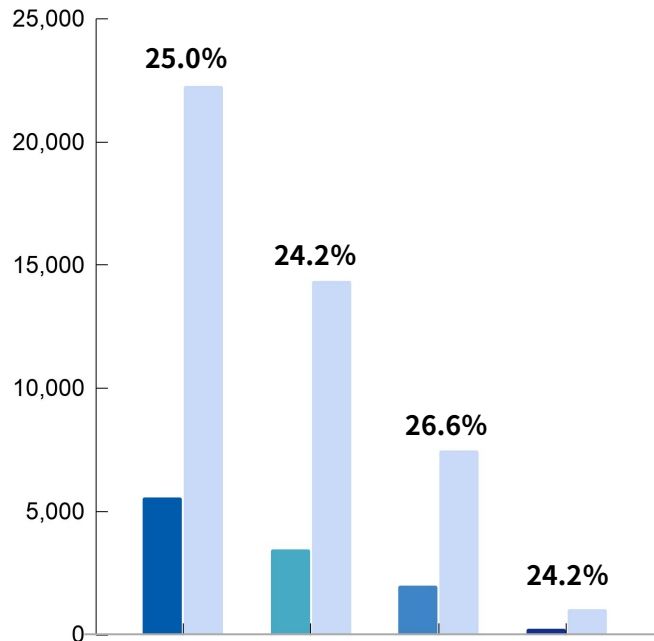
└営業費：3億5,600万円（対前年同期比 +3,200万円 +10.1%）



Q1セグメント別予想対比

売上高

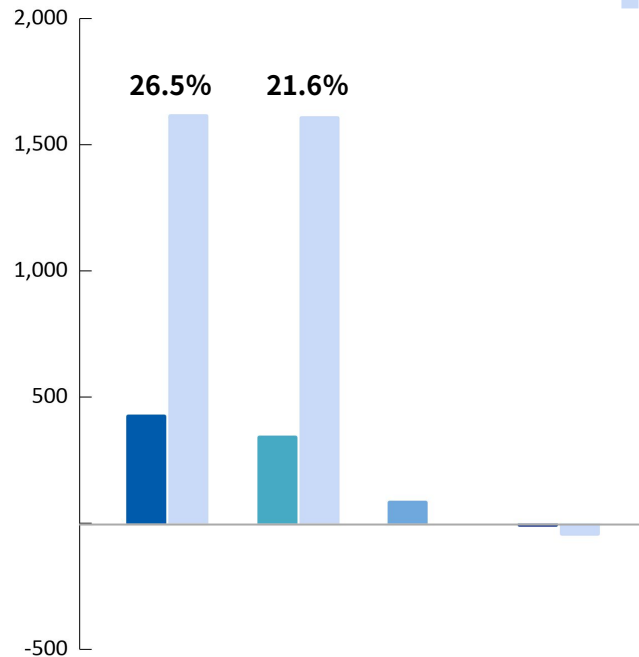
(百万円)



営業利益

(%は進捗率)

■ 累計実績
■ 通期予想



GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信

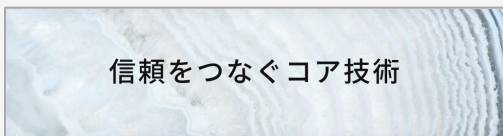
“わかりやすく”をモットーに、さまざまなコンテンツを発信しています！



数字で見る当社、あゆみ。そして未来へ。
3分でわかるGMOグローバルサイン・HD



電子認証局って何するところ？生活のあちこちで活用されている、電子証明書をご紹介します



少し難しい当社のコア技術を解説しています。また、コア技術を活用した未来の研究へと続きます。



長期ビジョン-Next2040
私たちは信頼を設計し、世界をつなぎます



公式チャンネル
@GMOGSHD_JP



公式X
@GMOGSHD_JP



公式IR note



最新IR情報をお届け！
IRメールマガジン

登録はこちら

GMOグローバルサイン・HD
GlobalSign

コーポレートサイト

免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

当資料に関するお問い合わせ先

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 社長室

お問い合わせフォーム：<https://form.gmogshd.com/contact/ir/>